

校報

第二百五十五號

昭和七年九月二十四日

東京女子高等師範學校

叙任及辭令

東京女子高等師範學校書記
兼第六臨時教員養成所書記

正七位
勳七等

西川眞澄

兼任廣島文理科大學事務官

叙高等官六等(九月內閣)

東京女子高等師範學校書記
兼第六臨時教員養成所書記
廣島文理科大學事務官

西川眞澄

依願免兼廣島文理科大學事務官(九月內閣)

東京女子高等師範學校書記
兼第六臨時教員養成所書記

西川眞澄

依願免本官並兼官(九月文部省)

彙報

●行事豫定表 第二學期ニ於ケル主ナル行事ノ豫定左ノ如シ

月	日	行	事	備	考
一〇・一九(水)		全校運動會		神宮外苑	
一〇・二〇(木)		休業			

自二〇・二一(金)	文科第三學年修學旅行	日光地	方
自二〇・二二(土)	理科第三學年修學旅行	三崎地	方
自二〇・二三(日)	家事科第三學年修學旅行	日光地	方
自二〇・二四(月)	理科第二學年修學旅行	秩父地	方
自二〇・二五(火)	理科第二學年修學旅行	秩父地	方
自二〇・二六(水)	理科家事科第三學年修學旅行	三崎地	方
自二〇・二七(木)	體育競技會(體育ヤ)	新校地	內
自二〇・二八(金)	理科家事科第三學年修學旅行	秩父	方
自二〇・二九(火)	理科家事科第三學年修學旅行	秩父	方
自二〇・三〇(水)	開校記念式兼附屬高等女學校創立五十週年祝賀式	新講堂(徵音堂)	
自二〇・三一(木)	附屬高等女學校創立五十週年祝賀會	新校舍	
自二〇・三二(金)	第二學期授業終		
自二〇・三三(土)	自習		
自二〇・三四(日)	第二學期定期試驗開始		
自二〇・三五(月)	第二學期定期試驗終了		
自二〇・三六(火)	校舎移轉開始	授業中及試驗中 ニテモ移動シ得ルモノハ此ノ日以前ニ於テ豫定移動ノ豫定	新校舎
自二〇・三七(水)	入學志願者選抜試驗		新校舎

自一。二。七(火)	入學志願者體格検査新	校一舍
一。二。八(水)	校	舍
一。二。七(火)	校	舍
	移	轉
	終	了

●生徒募集 昭和八年四月入學セシムヘキ生徒ヲ募集ス其ノ要項左ノ如シ

一 各學科ニ入學セシムヘキ生徒ノ概數

文科 三十五人

理科 三十人

家事科 四十五人

二 出願期限

昭和七年十一月二十日マテトス

三 志望學科

第一志望學科ニ第二志望學科ヲ併セ指定スルコトヲ得

四 選抜試験

イ 科目 國語(解釋、文法、作文) 英語(解釋、簡易ナル國文英譯) 數學(算術、代數、幾何)

ロ 期日 昭和七年十二月二十五日同二十六日ノ兩日

ハ 場所 左ノ八箇所

東京女子高等師範學校

東京市

奈良女子高等師範學校 奈良市

沖繩縣廳 那霸市

朝鮮總督府 京城府

臺灣總督府 臺北市

關東廳 旅順市

樺太廳 豊原町

青島總領事館 青島

東京女子高等師範學校ニ於ケル選抜試験及身體検査ハ本年ヨリ東京市小石川區大塚町三十五番地(市電大塚窪町下車)ニ於テ之ヲ施行ス

五 身體検査

第一次身體検査ハ東京女子高等師範學校及奈良女子高等師範學校ヲ受験場所ニ指定セル者ニ對シ昭和七年十二月二十七日同二十八日ノ兩日(但志願者ノ員數ニ依リテハ之ヲ同二十九日ニ延長スルコトアルヘシ)午前九時ヨリ受験學校ニ於テ之ヲ施行シ第二次身體検査ハ昭和八年四月上旬本校ニ於テ之ヲ施行ス沖繩縣廳以下六ヶ所ヲ受験場所ニ指定セル者ノ身體検査ハ入學候補者ニ對シ昭和八年四月上旬第一及第二次ヲ併セ之ヲ施行ス

六 入學候補者ノ選抜方法

入學候補者ノ選抜方法ハ概ネ左ノ如シ

(一) 選抜試験ノ結果ニ基キ最低合格點ヲ定ム

(二) 全國(滿洲等ヲ含ム)ヲ若干ノ地方ニ分テ各地

方別ニ女子師範學校及高等女學校ノ學級數、入學

志願者數其ノ他ノ事情ヲ考慮シテ入學候補者豫定

數ヲ定ム

(三) 入學志願者ノ所屬地方ハ其ノ出身學校所在地方

ニ依ル

(四) 最低合格點以上ノ得點者中ヨリ出身學校長ノ推

薦書類并ニ第一次身體檢査ノ結果ニ基キ入學ヲ許

可スヘカラスト認メタル者ヲ除外シ他ヲ選抜試験

ノ成績順ニ依リ各所屬地方ニ配當シ各地方入學候

補者豫定數ニ達スルニ至ツテ止ム

(五) 或地方ノ最低合格點以上ノ得點者其ノ地方入學

候補者豫定數ニ達セサルトキハ前條ニ係ラス成績

順ニ依リ適宜他ノ地方ニ配當ス

七 口頭試問

昭和八年四月上旬本校ニ於テ入學候補者ニ對シ口頭

試問ヲ施行シ第二次身體檢査ノ結果ヲ照査シテ入學

者ヲ定ム其ノ結果入學者豫定數ニ缺員ヲ生スルトキ

ハ更ニ六ノ方法ニ依リ之ヲ補填ス

雜 錄

●職員住所 職員中轉居セシ者左ノ如シ

本郷區湯島新花町九 西田方 助教諭 佐々木 光子